

令和6年度 水道局総務部組織目標

組織名	水道局総務部	部長	総務部長 小柴 謙
組織の目的・方向性	人口減少による水需要と給水収益の減少に的確に対応し、健全な水道事業運営を確保していくために、一層の経営基盤の強化を図るとともにお客さまサービスの向上、事務の適正化・効率化、職員の専門能力の向上に努め、将来にわたって持続可能な水道事業の実現を目指します。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	一人当たり年間平均断水・濁水時間		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

水道局総務部組織目標

健全な事業運営を確保していくために、中長期的な視点に立って、計画的かつ効率的に事業・取り組みを進めます。

お客さまニーズを的確に把握しサービスの向上を図るとともに、次世代を担う人材を育成します。

経理・契約事務の適正化・効率化に努め、あわせて工事点検を効果的に実施することにより工事品質の向上に努めます。

これらの方針のもと、今年度は、次の5つの目標に重点的に取り組みます。

重点目標

- 1 中長期経営計画を策定し、持続可能な事業運営に努めます。
- 2 将来の水道事業を担う人材育成のため、効果的な研修を実施します。
- 3 入札・契約事務を適正に実施し、運用状況の点検を着実に実施します。
- 4 DXを推進し、業務効率化とお客さまサービス向上に取り組みます。
- 5 工事受注者への適切な指導と育成により、工事品質を高めます。

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

	重点目標の達成状況	目標数	5	達成数	3
取組結果	重点目標1～3について着実に実施し、それぞれの目標を達成しました。 重点項目4は、口座振替データの伝送化の取り組みにおいて、想定外の支障が発生したため、予定の金融機関数まで届きませんでした。 重点事項5は、総合評価方式実施の取り組みにおいて、発注の平準化及び震災復旧工事等の影響により、目標値を下回る結果となりました。				
今後の方向性	引き続き、経営基盤の強化、お客さまサービスの向上、人材育成、工事品質の向上に努めるとともに、事業全体にわたり組織体制の効率化及び事務の執行の適正化を図っていきます。				